

**製品名: ホスホインテグリン  $\alpha$ 4 (Ser1027) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87112**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:115 kDa; Observed MW:150,70 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-Integrin alpha 4
別名	IA4; CD49D
遺伝子 ID	3676
SwissProt ID	P13612
免疫原	ヒトインテグリン $\alpha$ 4 の Ser1027 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

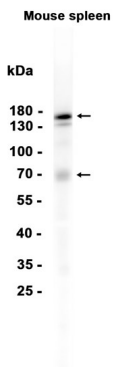
この遺伝子は、インテグリン  $\alpha$  鎖ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。インテグリンは、 $\alpha$  鎖と  $\beta$  鎖からなるヘテ

ロ二量体の膜貫通タンパク質であり、細胞表面接着とシグナル伝達に機能します。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって $\alpha 4$ サブユニットを構成する軽鎖と重鎖を生成します。このサブユニットは $\beta 1$ または $\beta 7$ サブユニットと会合してインテグリンを形成し、細胞の運動性と遊走に関与している可能性があります。このインテグリンは、多発性硬化症、クローン病、炎症性腸疾患の治療標的となっています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年10月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ホスホインテグリン  $\alpha 4$  (Ser1027) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウスの脾臓組織抽出物のウエスタンブロット分析。